

# 第16回 河川財団 名古屋研究発表会



本発表会は、土木学会  
CPD認定プログラム  
です。

—河川財団研究発表並びに河川基金助成事業成果発表—

日時 令和4年 **12月1日(木)** 13:00~17:20 **12:30受付開始**

会場 **名古屋銀行協会会館 5階 大ホール**  
名古屋市中区丸の内2丁目4番2号 TEL.052-231-8311

地下鉄桜通線「丸の内」駅4番出口より徒歩6分  
地下鉄鶴舞線「丸の内」駅1番出口より徒歩6分  
地下鉄名城線「市役所」駅4番出口より徒歩8分  
市バス 幹名駅1系統・名駅14系統・栄13系統「外堀通」下車すぐ

## プログラム

13:00 開会・主催者挨拶……………河川財団名古屋事務所長 川瀬 宏文  
13:05 来賓挨拶……………国土交通省中部地方整備局 河川部長 舟橋 弥生

### 講 演

13:10 「河道内樹木との付き合い方：抑制しながらの管理手法」  
……………土木研究所 自然共生研究センター長 森 照貴

14:00 休憩 - 15分

### 研究発表

座長：名古屋大学大学院教授／河川財団研究アドバイザー 戸田 祐嗣

14:15 河川財団研究発表の概要……………河川総合研究所 所長 天野 邦彦

14:20 「解析技術との連携による洗掘破堤危険性評価の進展の可能性」  
……………河川総合研究所 研究員 中島 由以佳

14:50 「流下能力に関する点検評価の現場運用手法の提案と実用化に向けて」  
……………河川総合研究所 研究員 水口 大輔

15:20 休憩 - 15分

### 基金助成事業成果発表

座長：名古屋大学大学院教授／河川財団研究アドバイザー 戸田 祐嗣

15:35 「河道における植生動態が河岸形成過程に与える影響の解明」  
……………中部大学 准教授 尾花 まき子

16:10 「水害ハザードマップ改善のためのワンスパン橋梁での  
流木災害発生危険度の評価と氾濫被害予測に関する研究」  
……………名城大学 准教授 岡本 隆明

16:45 「流木災害減災に向けた補足工設計最適化のための基礎技術の構築」  
……………富山大学 教授 木村 一郎

17:20 閉会挨拶……………経営企画部長 児玉 好史

※発表の題目は、変更になる場合がございます。最新情報は、財団ホームページをご覧ください。



講演者プロフィール 土木研究所 自然共生研究センター長 **森 照貴** (もりてるたか)

#### 略歴：

2004年3月 名古屋大学農学部 卒業  
2006年3月 北海道大学農学研究科 修了  
2010年3月 北海道大学環境科学院 修了  
2010年5月 (独)土木研究所自然共生研究センター  
2014年4月 東京大学総合文化研究科  
2017年4月 (国研)土木研究所自然共生研究センター

専門分野：河川生態学、群集生態学

#### 最近の主な研究テーマ：

- ・河川環境の評価と環境目標の立案
- ・河道内樹木の抑制と管理
- ・流域スケールでの環境の可視化
- ・多自然川づくりを進めるための情報発信

### 申込み

参加の申込み方法は裏面をご覧ください。

### 定員

**先着70名**  
定員になり次第、受付を終了いたします。

### 締切

令和4年11月28日(月)

### 問合せ先

河川財団 名古屋事務所 [担当：山田・奥田]  
TEL 052-963-5533 FAX 052-963-5535  
E-mail okuda-y@nagoya.kasen.or.jp

河川財団ホームページより申し込み下さい

<https://www.kasen.or.jp>

河川財団

検索

また、FAX・メールでも申し込みいただけます

FAX : 052-963-5535 E-mail : okuda-y@nagoya.kasen.or.jp

下記様式の内容を記載の上、送信下さい。

## 第16回 河川財団 名古屋研究発表会 参加申込書 (送信様式)

## 連絡先

会社名 団体名等			
住所	〒 -		
TEL	( )	FAX	( )
mail			

参加者氏名	所属	参加者氏名	所属

## 受講証明書

受講証明書は、発表会終了後アンケートにご回答頂くことで、発行させていただきます。

## 【注意事項】

他団体へCPD単位を登録する場合は、その団体の登録のルールに則って行われます。

単位が認定されるかどうかは、直接その団体にお問合せください。

## 新型コロナウイルス感染症対策について

発表会は、新型コロナウイルス感染症対策として、下記対策を実施します。皆様のご理解ご協力をお願いします。

## ●主催者側

- ①受付時の検温及び飛沫対策としてマスクの着用
- ②手洗い場及び共有設備に手指消毒を設置
- ③定期的な会場の換気
- ④ソーシャルディスタンスが十分に確保された会場設営
- ⑤講演時は、マウスシールドの装着またはアクリル板の設置

## ●参加者側

- ①発熱等の症状がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ②入室時の検温・アルコール消毒液での手指の消毒をお願いします。
- ③室内では、常時マスクの着用をお願いします。
- ④受講者同士の密集を抑制するため、資料を配布した席に着席をお願いします。
- ⑤その他、当日は感染予防に対するスタッフからの指示に沿って行動してください。

## 個人情報について

個人情報は、本研究発表会の連絡・受講証明書の発行以外には使用いたしません。新型コロナウイルス感染症対策として、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合があります。